

秋の大師祭レポート

編集・発行 放光院護持会広報担当

発行日 2019.9.23



令和元年9月21日(土)、「秋の大師祭」開催

境内にて作業打合せ



恒例の「お大師さん」が催されました。台風の接近に伴い、あいにくの小雨の天候と成りました。放光院護持会役員・気綱の会関係者・夜久野町観光協会所属の準備ボランティアの面々が朝8時30分に集合して準備にかかりました。

作業予定の参道草刈りは断念して参道の点検と賽銭回収を中心に幾つかのエリアに分かれて行いました。

この日は、今年の6月から取り組んでいる「石仏に親しむ日」(注)石仏・参道の補修と環境整備作業を行う日



と重なったので両方を兼ねての作業となりました。供花・賽銭・前掛けなどを見るにつけ石仏に寄せる里人の変わらぬ信仰の深さを思った



ことでした。

午前10時から放光院(大師堂)で読経を行いました。先達には気綱の会の森山会長にお願いしました。般若心経三唱から始まり、舍利礼文・延命十句観音経を三唱・弘法大師真言・観音菩薩・不動真言を七回唱えさせて戴きました。

この日は天候の影響もあり一般の参拝者も少なく、しっとりとしたお祭りとなりました。春の大師祭と比べても催しが皆無に近いため盛り上がり今後の課題だと思います。いい知恵を出しながら続けていきたいものです。皆様のご意見もお願いしたいと思います。



堂内には、一道貞心や関係僧侶の位牌、古い掛け軸等が保管されています。放光院の足跡を辿る手立てになる貴重な遺物です。調べてみたいと考えています。

